

筋肉の状態見やすく表示

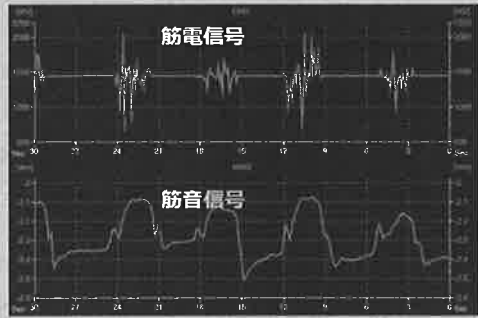
エヌ・シー・ピー

スポーツジムの運営を手掛けるエヌ・シー・ピー(岡山市)は、筋肉の状態を可視化できるジム・リハビリ施設向けのシステムを開発した。脳から筋肉への指令である電気信号「筋電」と筋肉が動くことで出る「筋音」の波長を計測し、運動前後の筋肉機能の改善度合いをわかりやすく表示する。2021年春をメドに本格販売し、20力所への採用をめざす。



測定装置は腕や足に取り付けて使い、1度に5力所の筋肉を同時に測定できる

ジム・リハビリ施設向け



筋電と筋音の波長の変化を同時に計測して表示する(パソコンの管理画面)

新たに開発した「Measee(メーシー)システム」は、腕や足にバンドで巻き付けて使う測定装置とアプリで構成する。装置は医療機器メーカーのイーアールディー(岡山市)製を採用。大きさは4.5寸×3寸、厚さ1.7寸で、皮膚に接する面の2つの電極で筋電を計測する。電極の間にあるセンサーは、隆起度合いの加速度の数値を筋音に変換する。

開発には両備システムズ(同)も参画した。1度に5力所を計測でき、アプリを入れたタブレット端末に近距離無線通信「Bluetooth」でデータを伝送。アプリはアンドロイドとiOSの2つの基本ソフト(OS)に対応し、筋電と筋音の波長に加えて筋肉の硬さや疲労度、反応度合いを10段階で表示する。データはパソコンでも閲覧可能だ。

筋電と筋音の波長が連動していないと、神経の伝達が弱くなっていることが把握可能という。筋肉が収縮しにくくなっていることも一目でわかるため、筋肉が疲労したときにたまる乳酸値の測定の代わりとしても活用できるとしている。

既に自社の施設など5カ所ほどで試験導入している。21年春をメドに本格販売する。買い取る場合は、専用アプリがインストール済みのタブレット端末、測定装置2個のセットで想定価格は58万円(税別)から。別に10人分の記録を管理するサーバーの利

用料として、月5000円(同)かかる。レンタルの場合、1000人分の利用で月3万円程度からとしている。

まず岡山県と広島県を中心に、20施設での採用をめざす。エヌ・シー・ピーの前村和佳取締役は「ジムの利用客の満足度を高めて継続利用を促すサービスとして活用してほしい」としている。

ジムに加えて高齢者向けのリハビリテーション施設や介護施設などの活用も見込んでおり、今後は事業部門の一つとして年商3000万円規模に育成したい考えだ。

今後は過去のデータや年齢別の統計を人工知能(AI)で分析する機能を加える計画。フィットネスジムやリハビリ施設の個人向けトレーニングのメニュー作り、指導内容の底上げにつながるという。

同社は総合建設コンサルタンのウエスコホールディングス傘下の企業で、20年7月期の売上高は6億円。岡山県や広島県で大型ジムの2店舗、24時間営業のジムの5店舗運営している。

(沢沼哲哉)

終電、全線30分繰り上げ

広島電鉄 利用減でコスト削減

広島電鉄は11月16日から広島市内の路面電車など全路線で終電を約30分繰り上げると発表した。新型コロナウイルスの影響で収入の落ち込みが続いており、利用客の少ない時間帯の運行をやめてコストを削減する。市民生活のほか、繁華街の飲食店などにも影響が広がりそうだ。

鉄道宮島線(広島西から広島市内の路面電車など)の終電を25分32分早める。例えば、広島駅発の広島宮島線は、これまで午後11時26分が最終だったが、午後10時59分となる。通勤や帰宅のピークを除いた日中や夜間を中心に減便し、全体の運行本数も約1割減らす。

コロナによるテレワークの広がりがや外出自粛など、市内を走る路面電車や

「ホテルニューヒロデン」

来年1月末に閉館

広島電鉄

広島電鉄は19日、子会社運営する広島駅近くの「ホテルニューヒロデン」を2021年1月末に閉館すると発表した。新型コロナウイルスの影響で宿泊客が減っており、耐震工事などの投資も必要だったことから運営の継続を断念した。閉館後の建物や土地の活用方法は未定という。

閉館後、運営会社のホテルニューヒロデン(広島市)は解散する。ホテルで働く122人の従業員には広島電鉄グループの仕事を紹介したり、他社への就職を支援したりする。

ホテルニューヒロデンは1974年に開業。客室数は256室で、宴会場や会議室なども備える。運営会社の20年3月期の営業収益は9億3900万円、最終損益は6000万円の赤字だった。建物の老朽化で工事などが必要だったが、売り上げの落ち込みにより設備投資を回収できないと判断。閉館を決めた。

コロナによる売り上げ減で閉館を決めた(広島市)

や観光客が減り、同ホテルの今年4～9月の宿泊売り上げは前年同期比で

な